

## 第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」の進捗状況（令和3年度実績）

## 1 数値目標及び施策のKPI等の進捗状況

## (1) 趣旨

第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」では、4つの《基本目標》ごとに、実現すべき成果に係る「数値目標」と、関連施策ごとの「KPI（重要業績評価指標）」を定め、それぞれ5年間で達成すべき目標値を設定している。毎年度、これらの達成状況の検証及び評価を通して、計画の進捗管理をすることにより、各分野における施策の整合性の確保や効率性の向上につなげる。

## 《基本目標》

基本目標① 多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる

基本目標② 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

基本目標③ 魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる

基本目標④ 誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる

## (2) 数値目標、KPI（重要業績評価指標）の令和3年度実績（年次目標ベース）

基本目標	種別	指標数	達成状況（上段：指標数、下段：分布割合）					備考
			100%以上	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	
①	数値目標	1	0(1) 0%(100%)	0(0) 0%(0%)	0(0) 0%(0%)	0(0) 0%(0%)	1(0) 100%(0%)	80%以上 0(1) 0%(100%)
	KPI	5	1(2) 20%(40%)	1(1) 20%(20%)	0(0) 0%(0%)	0(0) 0%(0%)	3(2) 60%(40%)	80%以上 2(3) 40%(60%)
②	数値目標	3	1(1) 33%(33%)	2(2) 67%(67%)	0(0) 0%(0%)	0(0) 0%(0%)	0(0) 0%(0%)	80%以上 3(3) 100%(100%)
	KPI	17	11(10) 65%(59%)	4(6) 24%(35%)	2(0) 12%(0%)	0(1) 0%(6%)	0(0) 0%(0%)	80%以上 17(16) 100%(94%)
③	数値目標	2	1(1) 50%(50%)	0(0) 0%(0%)	0(0) 0%(0%)	0(0) 0%(0%)	1(1) 50%(50%)	80%以上 1(1) 50%(50%)
	KPI	12	3(4) 25%(33%)	0(2) 0%(17%)	2(1) 17%(8%)	1(0) 8%(0%)	6(5) 50%(42%)	80%以上 5(7) 42%(58%)
④	数値目標	4	1(1) 25%(33%)	2(1) 50%(33%)	0(0) 0%(0%)	0(0) 0%(0%)	1(1) 25%(33%)	80%以上 3(2) 75%(50%)
	KPI	14	2(2) 14%(14%)	1(0) 7%(0%)	0(1) 0%(7%)	3(0) 21%(0%)	8(11) 57%(79%)	80%以上 3(3) 21%(21%)
合計	数値目標	10	3(4) 30%(44%)	4(3) 40%(33%)	0(0) 0%(0%)	0(0) 0%(0%)	3(2) 30%(22%)	80%以上 7(7) 70%(78%)
	KPI	48	17(18) 35%(38%)	6(9) 13%(19%)	4(2) 8%(4%)	4(1) 8%(2%)	17(18) 35%(38%)	80%以上 27(29) 56%(60%)

※（ ） 令和2年度実績

※数値目標・KPIの数は施策ごとにカウントしているため、違う施策で同じ数値目標・KPIの場合には重複。

※達成状況（分布割合）は小数点以下を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%ではない。

※未集計指標3件（「県内大学卒業生の県内定着率」、同指標の再掲2箇所）を除き算出。

### (3) 総評

- 令和3年度は、「基本目標② 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる」については、概ね数値目標の年次目標を達成した。  
一方、「基本目標① 多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる」、「基本目標③ 魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる」及び「基本目標④ 誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる」数値目標のうち、実績値が年次目標を下回り、達成状況が70%未満となったものは3件あった。
- 令和2年度に引き続き、人流の抑制やそれに伴う経済活動の停滞など、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、多くの分野で目標値の達成が困難な状況となった。全体として、令和2年度に一旦落ち込んだ指標は3年度も横ばいの傾向が続いているが、そのような中でも「基本目標② 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる」の関連施策のKPIは、全ての指標で達成状況が80%以上となるなど改善が見られた。
- 令和3年度は、コロナ禍においても、イベントのオンライン開催など、様々な工夫を凝らし、感染防止対策に努めながら事業等を展開することで、ウィズコロナの「新たな生活様式」が一層浸透したものと推察される。また、テレワークやオンライン会議、時差出勤、ワーケーションの推進など、アフターコロナを見据えての経済活動が活発化する動きも見られる。
- 今後は、コロナ禍で加速したDX（デジタルトランスフォーメーション）などの社会情勢の変化にも的確に対応し、経済回復と感染防止のバランスを勘案しながら、人口減少・少子高齢化が進展する中でも、基本目標である「安心して子どもを産み育てられるまちをつくる」、「魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる」の施策を進めることで、アフターコロナを見据えた持続可能なまちづくりを進めていく。

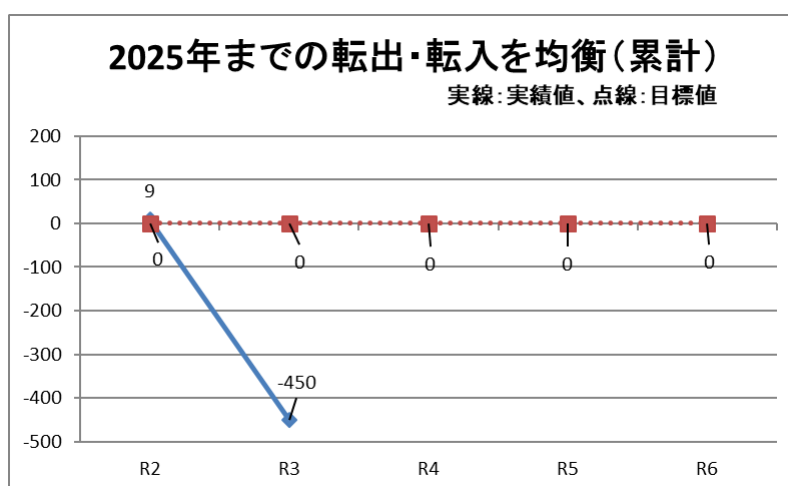
#### (4) 基本目標別の状況

##### 基本目標① 多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる

###### <数値目標>

- ・ (No.1) 「転出・転入の均衡」について、令和3年度は、転入者数が4,232人、転出者数が4,682人で、▲450人の転出超過となり、年次目標を下回った(達成率▲336.9%)。  
令和2年度はコロナ禍によって県外への転出が大きく減少し、9人の転入超過であったが、令和3年度はコロナ禍が一定の落ち着きを見せたことから、県外移動が活発化する動きが見られ、大きく転出超過となった。

項目	基準値	年次目標	実績値	達成率
	H30	R3		
2025年までの転出・転入を均衡	▲275人/年 (H26~30年度の 累計▲103人/年)	0人/年	▲450人/年	▲336.9%



###### <主なKPIの動向>

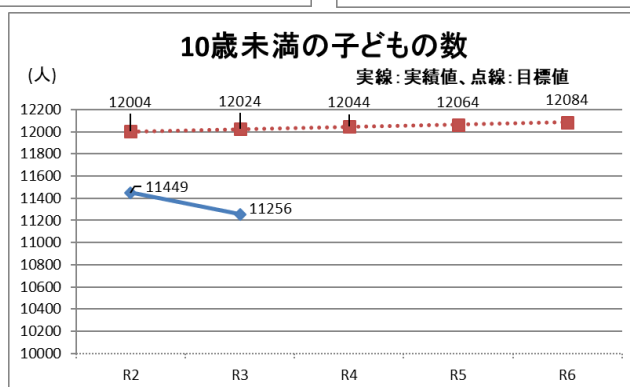
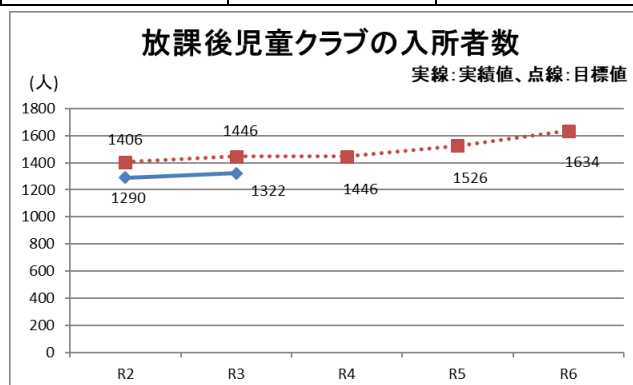
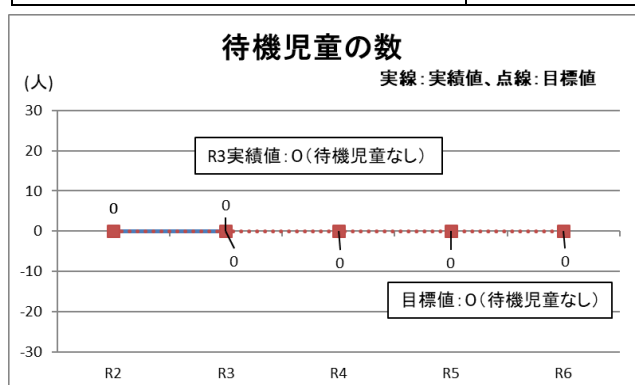
- ・ (No.3) 県Uターン就職率は、WEBによる呉西圏域就業マッチング、市内企業社員と学生とのオンライン交流会を開催しUIJターン促進を図ったが、新型コロナウイルス感染症拡大により移動を伴う就職活動が従来通りにできない状況が続いているため、年次目標58.8%に対して実績は57.9%(達成率98.5%)となり、令和2年度の実績(58.0%)からほぼ横ばいで推移した。今後も、ハローワークや商工会議所、呉西圏域等と連携をしながら、UIJターン就職促進事業の取組みを進めていく。

## 基本目標② 安心して子どもを生み育てられるまちをつくる

### <数値目標>

- ・ (No.10)「待機児童の数」は0人を達成した。
- ・ (No.11)「放課後児童クラブの入所者数」は1,322人で、年次目標1,446人を124人下回った(達成率91.4%)。
- ・ (No.12)「10歳未満の子どもの数」は11,256人であり、年次目標12,024人を768人下回った(達成率93.6%)。

項目	基準値	年次目標	実績値	達成率
	H30	R3		
待機児童の数	0人	0人	0人	100.0%
放課後児童クラブの入所者数	1,190人	1,446人	1,322人	91.4%
10歳未満の子どもの数 (2025年までに2020年+100人)	11,984人	12,024人	11,256人	93.6%



### <主なKPIの動向>

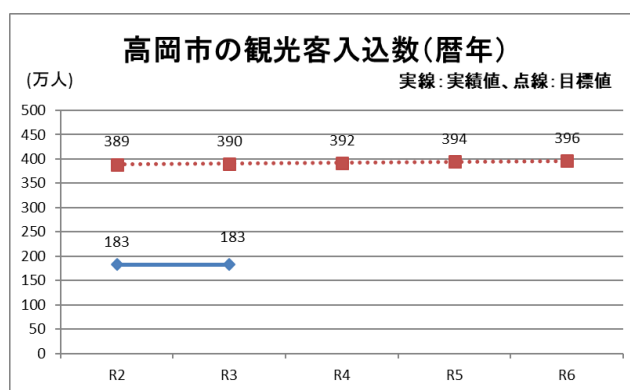
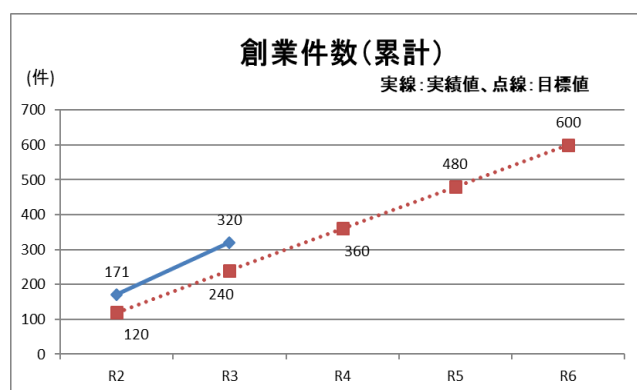
- ・ 乳幼児健康診査のアンケートによる(No.15)積極的に育児をしている父親の割合は、父親向けパンフレット配布を行った結果、年次目標67%を上回る69%の実績となった(達成率102.7%)。引き続き、母子健康手帳交付時に新たに父親向けパンフレット配布を行うとともに、家庭訪問等において直接育児への積極的な参加を促していく。
- ・ (No.25、No.26)ICTを活用した授業の実施率は、動画視聴や資料提示の際に、大型提示装置を多用してきたため、小・中学校ともに年次目標50%を上回り、それぞれ実績96%、91%となった(達成率 小192%、中182%)。国のGIGAスクール構想が加速するなか、本市においても一人一台学習専用端末の配備をし、デジタル教科書や大型提示装置を用いるなどして、ICT活用を推進する。

## 基本目標③ 魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる

### <数値目標>

- ・ (No.30)「創業件数(累計)」は320件(令和元～3年度)であり、年次目標240件を上回った(達成率133.3%)。各種創業セミナーや創業者支援事業補助金等を通じて、創業機運の醸成を図るとともに、各支援機関との連携による切れ目のない支援により、目標値を達成した。
- ・ (No.31)「高岡市の観光客入込数(暦年)」は、年次目標390万人を大きく下回り、183万人となった(達成率46.9%)。令和2年度実績(183万人)から横ばいで推移している。

項目	基準値 H30	年次目標	実績値	達成率
		R3		
創業件数(累計)	168件	240件	320件	133.3%
高岡市の観光客入込数(暦年)	385万人/年	390万人/年	183万人/年	46.9%



### <主なKPIの動向>

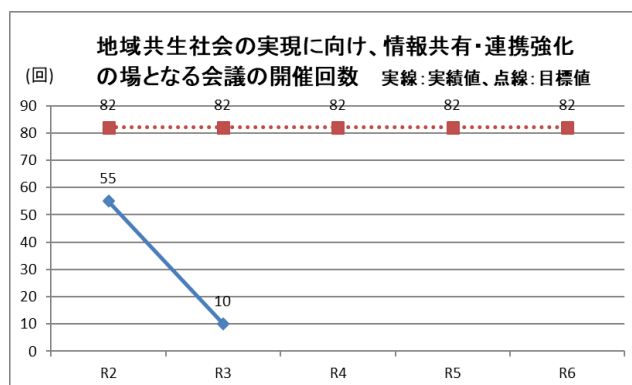
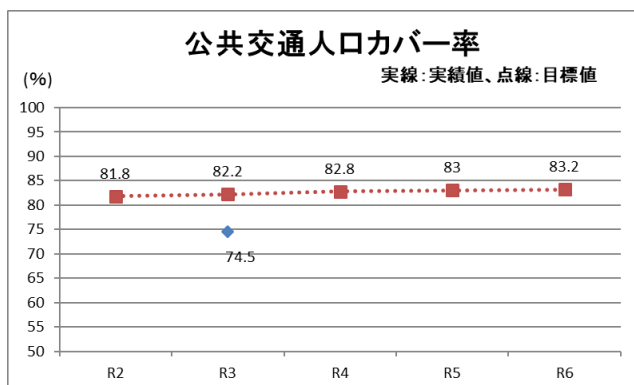
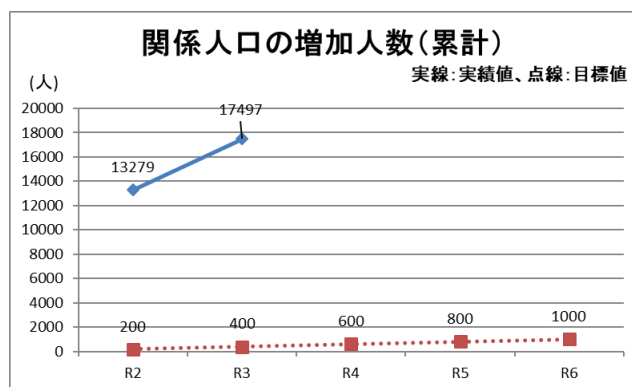
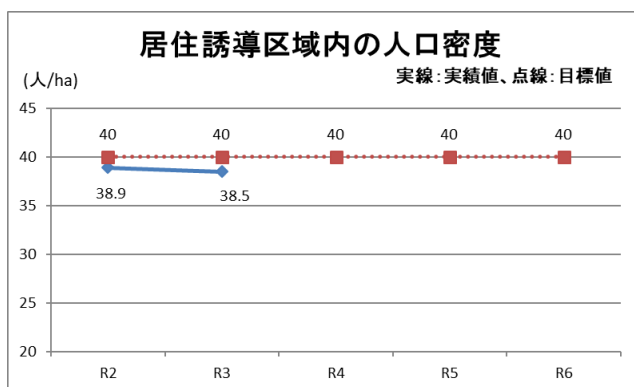
- ・ (No.36)伝統産業生産額は、年次目標114億9千5百万円に対し、実績は98億5千万円となった(達成率85.7%)。生産額は年々減少傾向にあるものの、EC等のオンライン技術を活用した取組みが見られ、売上の減少幅は小さく抑えることができた。引き続き、各組合及び事業者が、海外ニーズを捉えた商品開発やアフターコロナを見据えた販路開拓等に積極的に取り組めるよう支援する。
- ・ (No.39)中心商店街・観光地周辺における新規開業店舗数は、商業店舗開業支援の充実により、年次目標の20件を上回る31件の実績となった(達成率155%)。引き続き、中心市街地や観光地における新規開業店舗数に直接的に寄与する開業支援事業を行う。
- ・ (No.42)外国人宿泊数は、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症に伴う入国制限により、年次目標12,565人に対し、実績1,714人と、大幅に下回った(達成率13.6%)。今後は、国内外の社会情勢を注視しながら、外国人観光客の誘致に努める。

## 基本目標④ 誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる

### <数値目標>

- ・ (No.44)「居住誘導区域内の人口密度」の実績は 38.5 人/ha で、年次目標の 40 人/ha を下回った (達成率 96.4%)。
- ・ (No.45)「公共交通人口カバー率」は 74.5%であり、年次目標の 82.2%を下回った (達成率 90.6%)。
- ・ (No.46)「関係人口の増加人数 (累計)」は 17,497 人であり、年次目標を大幅に上回った (達成率 4374.3%)。
- ・ (No.47)「地域共生社会の実現に向け、情報共有・連携強化の場となる会議の開催回数」は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催を自粛したことから、10 回と年次目標を下回った (達成率 12.2%)。

項目	基準値 H30	年次目標	実績値	達成率
		R3		
居住誘導区域内の人口密度	40 人/ha (H27)	40 人/ha	38.5 人/ha	96.4%
公共交通人口カバー率	77.2%	82.2%	74.5%	90.6%
関係人口の増加人数 (累計)	-	400 人	17,497 人	4374.3%
地域共生社会の実現に向け、情報共有・連携強化の場となる会議の開催回数	68 回	82 回	10 回	12.2%



### <主なK P Iの動向>

- ・ (No.59) 公民館利用者数は、一定期間施設を一部利用停止していたことから、年次目標 55 万人に対して、25 万人と下回った (達成率 45.5%)。公民館利用者が安心して利用できるように感染対策の徹底を図り、地域の実情に応じたコミュニティの拠点となるよう支援していくとともに、オンライン講座や動画配信など、コロナ禍がもたらした生涯学習の新たな形にも対応可能な環境整備を進めていく。

## 2 令和3年度地方創生関係交付金事業の実績について

総合戦略「みらい・たかおか」の推進のために、平成28年度以降、国の地方創生関係交付金を活用している。令和3年度の地方創生関連交付金事業実績は次のとおり。

### (1) 地方創生関係交付金の概要について

- ア 地方創生推進交付金（平成28年度～継続中、50%が国から交付される）  
地方版総合戦略に位置付けられた先駆性のある取組の円滑な実施に対し、国が支援。
- イ 地方創生拠点整備交付金（平成28年度～継続中、50%が国から交付される）  
地方版総合戦略に位置付けられた先駆性のある取組のハード整備に対し、国が支援。

### (2) 地方創生推進交付金（全7事業（広域連携3事業、市単独4事業））

#### ア【広域連携事業】「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローバル交通ネットワーク形成事業

計画期間	令和元～5年度							
目指す将来像	公共交通の利便性を高めるため、効率性・採算性等にも考慮した取組みを進め、つかいやすくて、わかりやすい、持続可能な公共交通網の形成を目指す。							
概要	<p>県内の多彩な交通機関を活かした地域交通ネットワークを形成。持続可能で多様な地域交通サービスを実現し、利便性の向上を図るもの。（広域代表：富山県）</p> <p>・本市では、公営バス運行管理事業（富山県地域公共交通情報提供推進協議会負担金、バスロケーションシステム維持管理業務委託）に取り組んだ。</p>							
交付対象事業費(国費)	166千円（80千円）							
本事業における重要業績評価指標（KPI）  ※全県が対象  ※広域代表＝富山県にて取りまとめ	鉄軌道・バスの利用率（県民1人当たりの年間利用回数）							
	H30（基準値）		R1		R2		R3	
	46回		増加分	累計	増加分	累計	増加分	累計
		目標値	0.50回	46.50回	0.55回	47.05回	0.55回	47.60回
		実績値	1.50回	47.50回	▲11.00回	36.50回	▲2.50回	34.00回
	観光客の県内交通機関の満足度							
	H30（基準値）		R1		R2		R3	
	50.8%		増加分	累計	増加分	累計	増加分	累計
		目標値	3.0%	53.8%	2.0%	55.8%	2.0%	58.0%
		実績値	▲1.2%	49.6%	▲5.6%	44.0%	8.7%	52.7%
	農林漁業等体験者数							
	H30（基準値）		R1		R2		R3	
	68,199人		増加分	累計	増加分	累計	増加分	累計
		目標値	1,874人	70,073人	1,874人	71,947人	1,875人	73,822人
		実績値	—	—	—	—	—	—
	富山空港国内・国際路線の利用者数							
H30（基準値）		R1		R2		R3		
573,120人		増加分	累計	増加分	累計	増加分	累計	
	目標値	3,610人	576,730人	4,665人	581,395人	4,665人	586,060人	
	実績値	▲18,439人	554,681人	▲496,536人	58,145人	41,905人	100,050人	
交付金事業の効果	本事業によって「とやまロケーションシステム」を維持管理し、利便性を確保した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、鉄軌道・バスや空路の利用者が減少したが今後の感染症の収束によって回復が見込まれる。引き続き持続可能な公共交通網の形成を目指し、利用促進に取り組む。							

## イ【広域連携事業】とやま未来創生チャレンジ人材育成事業

計画期間	令和2～4年度																						
目指す将来像	グローバルな視点やICTリテラシーなど新たな知見を身に付け、探求心や課題解決能力等を高めることを通じ、人生100年時代を見据えた、将来を担う人材の育成を目指す。																						
概要	リカレント教育（学び直し）の意義に関する広域的な啓発を行うとともに、学力だけでなく、非認知能力やICTリテラシーなど、新たな時代に求められる能力を持つ人材の育成に取り組むもの。（広域代表：富山県）																						
	・本市では、ICT人材育成事業（高岡市ロボットプログラミング競技大会開催・運営業務）に取り組んだ。																						
交付対象事業費(国費)	500千円（250千円）																						
本事業における重要業績評価指標（KPI）  ※全県が対象  ※広域代表＝富山県にて取りまとめ	リカレント教育（学び直し）に取り組む県内社会人の割合																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R1 (基準値)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40.8%</td> <td>目標値</td> <td>6.0%</td> <td>46.8%</td> <td>3.0%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>1.8%</td> <td>42.6%</td> <td>3.2%</td> <td>45.8%</td> </tr> </tbody> </table>	R1 (基準値)		R2		R3		増加分	累計	増加分	累計	40.8%	目標値	6.0%	46.8%	3.0%	50.0%		実績値	1.8%	42.6%	3.2%	45.8%
	R1 (基準値)				R2		R3																
		増加分	累計		増加分	累計																	
	40.8%	目標値	6.0%	46.8%	3.0%	50.0%																	
		実績値	1.8%	42.6%	3.2%	45.8%																	
	県内大学・短大入学者の県内比率																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R1 (基準値)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46.00%</td> <td>目標値</td> <td>0.00%</td> <td>46.00%</td> <td>1.50%</td> <td>47.50%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>▲0.66%</td> <td>45.34%</td> <td>1.16%</td> <td>46.50%</td> </tr> </tbody> </table>	R1 (基準値)		R2		R3		増加分	累計	増加分	累計	46.00%	目標値	0.00%	46.00%	1.50%	47.50%		実績値	▲0.66%	45.34%	1.16%	46.50%	
R1 (基準値)				R2		R3																	
	増加分	累計		増加分	累計																		
46.00%	目標値	0.00%	46.00%	1.50%	47.50%																		
	実績値	▲0.66%	45.34%	1.16%	46.50%																		
困難な課題に果敢に挑戦する県内小学生の割合																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R1 (基準値)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42.4%</td> <td>目標値</td> <td>3.0%</td> <td>45.4%</td> <td>3.0%</td> <td>48.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>▲8.0%</td> <td>34.4%</td> <td>▲4.2%</td> <td>30.2%</td> </tr> </tbody> </table>	R1 (基準値)		R2		R3		増加分	累計	増加分	累計	42.4%	目標値	3.0%	45.4%	3.0%	48.0%		実績値	▲8.0%	34.4%	▲4.2%	30.2%	
R1 (基準値)				R2		R3																	
	増加分	累計		増加分	累計																		
42.4%	目標値	3.0%	45.4%	3.0%	48.0%																		
	実績値	▲8.0%	34.4%	▲4.2%	30.2%																		
地域社会で活動する高齢者等の活動件数																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R1 (基準値)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,670件</td> <td>目標値</td> <td>50件</td> <td>5,720件</td> <td>50件</td> <td>5,770件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>▲4,343件</td> <td>1,327件</td> <td>75件</td> <td>1,402件</td> </tr> </tbody> </table>	R1 (基準値)		R2		R3		増加分	累計	増加分	累計	5,670件	目標値	50件	5,720件	50件	5,770件		実績値	▲4,343件	1,327件	75件	1,402件	
R1 (基準値)				R2		R3																	
	増加分	累計		増加分	累計																		
5,670件	目標値	50件	5,720件	50件	5,770件																		
	実績値	▲4,343件	1,327件	75件	1,402件																		
交付金事業の効果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、県全体としては十分な活動ができていないが、本市においてはロボットプログラミング競技大会を通じて、ICTを積極的に活用して問題解決ができる人材が育成できた。																						



ウ【広域連携事業】多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業

計画期間	令和3～7年度											
目指す将来像	本県の自然、食、住環境、伝統文化等が有する「価値」に共感してもらえるターゲット層に戦略的にアプローチし、コアな富山県ファン・リピーターの獲得、定住も視野に入れた観光交流の促進等による県内経済の活性化を目指す。											
概要	<p>何度でも訪れたいくなる「選ばれ続ける観光地」としての魅力を向上させることで、コアな富山ファン・リピーターの獲得や消費単価・滞在日数の増を図るもの。（広域代表：富山県）</p> <p>・本市では、新旅行造成市町村タイアップ事業、観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト実施事業に取り組んだ。</p>											
交付対象事業費(国費)	6,802千円(3,401千円)											
本事業における重要業績評価指標(KPI)  ※全県が対象  ※広域代表＝富山県にて取りまとめ	観光消費額単価(宿泊・日帰り)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R2 (基準値)</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,007円/人回</td> <td>目標値 240円/人回</td> <td>10,247円/人回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値 1,068円/人回</td> <td>11,075円/人回</td> </tr> </tbody> </table>	R2 (基準値)	R3		増加分	累計	10,007円/人回	目標値 240円/人回	10,247円/人回		実績値 1,068円/人回	11,075円/人回
	R2 (基準値)		R3									
		増加分	累計									
	10,007円/人回	目標値 240円/人回	10,247円/人回									
	実績値 1,068円/人回	11,075円/人回										
観光入込客数(実数)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R2 (基準値)</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,816千人</td> <td>目標値 30千人</td> <td>14,846千人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値 ▲4,079千人</td> <td>10,737千人</td> </tr> </tbody> </table>	R2 (基準値)	R3		増加分	累計	14,816千人	目標値 30千人	14,846千人		実績値 ▲4,079千人	10,737千人	
R2 (基準値)		R3										
	増加分	累計										
14,816千人	目標値 30千人	14,846千人										
	実績値 ▲4,079千人	10,737千人										
日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R2 (基準値)</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,000人</td> <td>目標値 7,500人</td> <td>22,500人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値 ▲1,268人</td> <td>13,732人</td> </tr> </tbody> </table>	R2 (基準値)	R3		増加分	累計	15,000人	目標値 7,500人	22,500人		実績値 ▲1,268人	13,732人	
R2 (基準値)		R3										
	増加分	累計										
15,000人	目標値 7,500人	22,500人										
	実績値 ▲1,268人	13,732人										
県立美術館等の年間来館者数												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R2 (基準値)</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>400,000人</td> <td>目標値 20,000人</td> <td>420,000人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値 159,457人</td> <td>559,457人</td> </tr> </tbody> </table>	R2 (基準値)	R3		増加分	累計	400,000人	目標値 20,000人	420,000人		実績値 159,457人	559,457人	
R2 (基準値)		R3										
	増加分	累計										
400,000人	目標値 20,000人	420,000人										
	実績値 159,457人	559,457人										
交付金事業の効果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、観光入込客数等が減少したが、観光消費額単価は増加となった。今後の感染症の収束によって回復が見込まれることから、引き続き、新旅行造成市町村タイアップ事業、観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト実施事業に取り組む。											

## エ 関係人口拡大から移住者を呼び込む、発信・体験プロジェクト

計画期間	令和2～4年度					
目指す将来像	移住者に対する地域の受入体制の充実を図るとともに、情報発信力を強化し、賑わい創出事業の実施や地域と継続的なつながりを持つ機会を創出することで「関係人口」を獲得する。					
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市、商工会議所、ハローワークが連携したUIJターンの推進（移住フェア・セミナー出展、移住マッチングサイト情報掲載など）</li> <li>リノベーションを通じた関係人口獲得につながる事業</li> </ul>					
交付対象事業費(国費)	12,259千円（6,129千円）					
本事業における重要業績評価指標(KPI)	市の相談窓口を通じた移住者数					
	H30 (基準値)		R2		R3	
			増加分	累計	増加分	累計
	94人	目標値	10人	104人	22人	126人
		実績値	6人	100人	13人	113人
	県内大学生（県外出身者）の県内就職率					
	H30 (基準値)		R2		R3	
			増加分	累計	増加分	累計
	18.40%	目標値	1.0%	19.4%	1.0%	20.4%
		実績値	0.3%	18.7%	1.7%	20.4%
	UIJターン採用率					
	H30 (基準値)		R2		R3	
			増加分	累計	増加分	累計
	16.10%	目標値	1.0%	17.1%	1.0%	18.1%
		実績値	2.0%	18.1%	▲5.7%	12.4%
10歳未満の子どもの数						
H30 (基準値)		R2		R3		
		増加分	累計	増加分	累計	
11,834	目標値	20人	11,854人	20人	11,874人	
	実績値	▲385	11,449人	▲193	11,256人	
交付金事業の効果	KPIは達成できなかったが、地方移住への関心の高まり等により、移住相談の件数は増加している。引き続き、商工会議所やハローワークと連携し、地元企業の人材確保や移住促進に取り組む。また、クラウドファンディング事業の実施により、本市の課題解決に資する挑戦に対する寄附を募り関係人口の拡大を図ることができた。					

## オ 「令和」時代を追い風とした、文化の力で地域の稼ぐ力創出プロジェクト

計画期間	令和2～4年度					
目指す将来像	令和改元を追い風とし、万葉歴史館の魅力向上、歴史・文化のPR事業等を進め、「万葉」をキーワードとした観光客、関係人口が増加し、「稼ぐ力」を獲得する社会を目指す。					
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万葉まつりにおける万葉ファン拡大に資するイベント実施</li> <li>・高校生万葉短歌バトル</li> <li>・万葉歴史館展示室の整備</li> </ul>					
交付対象事業費(国費)	29,200千円(14,600千円)					
本事業における重要業績評価指標(KPI)	万葉歴史館入館者数					
	H30 (基準値)		R2		R3	
	24,807人		増加分	累計	増加分	累計
		目標値	1,000人	25,807人	1,050人	26,857人
		実績値	▲ 12,422人	12,385人	165人	12,550人
	観光客入込客数					
	H30 (基準値)		R2		R3	
	385万人		増加分	累計	増加分	累計
		目標値	1.8万人	386.8万人	1.8万人	388.6万人
		実績値	▲ 202.2万人	182.8万人	0.2万人	183.0万人
	万葉歴史館を校外学習等で来訪する学校数					
	H30 (基準値)		R2		R3	
	21校		増加分	累計	増加分	累計
		目標値	0校	21校	5校	26校
		実績値	▲ 3校	18校	6校	24校
	観光客の宿泊者数					
H30 (基準値)		R2		R3		
302,929人		増加分	累計	増加分	累計	
	目標値	1,000人	303,929人	1,000人	304,929人	
	実績値	▲ 136,132人	166,797人	29,253人	196,050人	
交付金事業の効果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、観光客数等が減少したが、オンラインによるイベント実施や万葉歴史館の展示充実によって注目を集めながら参加者を確保し、アフターコロナにつなげる土台を構築した。					

## カ まちなか賑わい創出プロジェクト

計画期間	令和2～4年度																						
目指す将来像	中心市街地において「ひと」が集まる動機づくりと居心地の良さづくりという観点のもと、「コト消費」によって「多様な目的による多様な交流が図られる場所」となることを目指す。																						
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地における空き店舗を活用した事業への支援</li> <li>・中心市街地に人の往来、多様な交流の機会を提供するイベント等の実施</li> <li>・まちなかの新たな交流空間として高岡地域地場産業センターを移設</li> </ul>																						
交付対象事業費(国費)	29,202千円(14,601千円)																						
本事業における重要業績評価指標(KPI)	周辺の歩行者通行量 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">H30 (基準値)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,425人</td> <td>目標値</td> <td>1,000人</td> <td>15,425人</td> <td>1,000人</td> <td>16,425人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>▲ 4,276人</td> <td>10,149人</td> <td>749人</td> <td>10,898人</td> </tr> </tbody> </table>	H30 (基準値)		R2		R3		増加分	累計	増加分	累計	14,425人	目標値	1,000人	15,425人	1,000人	16,425人		実績値	▲ 4,276人	10,149人	749人	10,898人
	H30 (基準値)				R2		R3																
		増加分	累計		増加分	累計																	
14,425人	目標値	1,000人	15,425人	1,000人	16,425人																		
	実績値	▲ 4,276人	10,149人	749人	10,898人																		
中心商店街・観光地周辺における新規開業店舗数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R1 (基準値)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40件</td> <td>目標値</td> <td>5件</td> <td>45件</td> <td>5件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>17件</td> <td>57件</td> <td>14件</td> <td>71件</td> </tr> </tbody> </table>	R1 (基準値)		R2		R3		増加分	累計	増加分	累計	40件	目標値	5件	45件	5件	50件		実績値	17件	57件	14件	71件	
R1 (基準値)				R2		R3																	
	増加分	累計		増加分	累計																		
40件	目標値	5件	45件	5件	50件																		
	実績値	17件	57件	14件	71件																		
高岡地域地場産センターへの来場者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">H30 (基準値)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64,240人</td> <td>目標値</td> <td>500人</td> <td>64,740人</td> <td>500人</td> <td>65,240人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>▲ 43,750人</td> <td>20,490人</td> <td>6,285人</td> <td>26,775人</td> </tr> </tbody> </table>	H30 (基準値)		R2		R3		増加分	累計	増加分	累計	64,240人	目標値	500人	64,740人	500人	65,240人		実績値	▲ 43,750人	20,490人	6,285人	26,775人	
H30 (基準値)				R2		R3																	
	増加分	累計		増加分	累計																		
64,240人	目標値	500人	64,740人	500人	65,240人																		
	実績値	▲ 43,750人	20,490人	6,285人	26,775人																		
交付金事業の効果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出控えによってまちなかの人流が抑えられたが、若い世代によるアフターコロナを見据えた店舗の新規開業など、中心市街地のにぎわいの回復に向けて土台を構築することができた。																						

## キ 人材育成・都市部人材獲得による地域活性化事業

計画期間	令和3～5年度														
目指す将来像	地域の課題を解決するための人材、地方創生に資する人材の育成するとともに、都市部人材に対して地方企業へのインターンシップを促進することで、移住・定住を目指す。														
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとみつけ塾による都市部人材の地方企業へのインターンシップを行う事業</li> <li>・首都圏の企業経営者や大学等の研究者など第一線で活躍している人材を講師に招き、地方創生に資する人材育成を目指す、まちづくり人材事業（高岡熱中寺子屋）</li> </ul>														
交付対象事業費(国費)	5,000千円（2,500千円）														
本事業における重要業績評価指標(KPI)	「ふるさとみつけ塾」インターンシップを経由した市内企業への就職者数及び起業者数														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R1 (基準値)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0人</td> <td>目標値</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	R1 (基準値)		R3		増加分	累計	0人	目標値	0人	0人		実績値	0人	0人
	R1 (基準値)				R3										
増加分		累計													
0人	目標値	0人	0人												
	実績値	0人	0人												
本事業により地域と多様に関わった人数	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R1 (基準値)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0人</td> <td>目標値</td> <td>200人</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>200人</td> <td>200人</td> </tr> </tbody> </table>	R1 (基準値)		R3		増加分	累計	0人	目標値	200人	200人		実績値	200人	200人
R1 (基準値)				R3											
		増加分	累計												
0人	目標値	200人	200人												
	実績値	200人	200人												
交付金事業の効果	本事業に起因する受講生企画の事業実施数														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R1 (基準値)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>増加分</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0件</td> <td>目標値</td> <td>3件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>	R1 (基準値)		R3		増加分	累計	0件	目標値	3件	3件		実績値	2件	2件
	R1 (基準値)				R3										
増加分		累計													
0件	目標値	3件	3件												
	実績値	2件	2件												
「ふるさとみつけ塾」では、就職には繋がらなかったが、市内企業へのインターンシップを実施することができた。本事業をきっかけとして新たな出会いが創出され、地方創生に効果があったと考えられる。引き続き、人材育成、都市部の人材確保のため、関係人口の拡大に取り組む。															

### (3) 地方創生拠点整備交付金

令和3年度該当事業なし

### 3 企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）の実績について

地方創生を実現するために民間企業が積極的に寄附を行うことができるよう、平成 28 年度に創設された制度。国が認定した地域再生計画に対して企業が寄附を行った場合、法人税などの負担軽減が受けられる。本市は総合戦略「みらい・たかおか」の推進にかかる 2 つの計画の認定を受けている。

#### ア 藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり～若者が夢を持ち住み続けたくなるまちの魅力向上プロジェクト～

事業名 および 目的	日本を代表するまんが家藤子・F・不二雄こと藤本弘氏（以下「F 先生」。）の出身地である高岡ならではの取り組みを進めることにより、交流人口の拡大につなげる。あわせて、F 先生の作品のキャラクターに日常的に親しめる環境を作ることで、高岡に育つ子どもたちに、この高岡から F 先生のような世界で愛される作品を生み出す人物が輩出されたこと、このまちでの何気ない日常が大きな世界へとつながっていることを伝え、ふるさと高岡への誇りと愛着を育む。さらに、事業を推進させることにより、転出抑制と U ターンの推進、子育てしやすいまちづくりを実現し、「若者の定住の促進」「若者が安心して働き、子供を産み育てられる地域社会」につなげる。			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー企画展示事業</li> <li>・高岡おとぎの森公園活性化事業</li> <li>・藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー P R 事業</li> </ul>			
事業費	10,752 千円			
寄附額	10,000 千円			
重要業績評価 指標 (KPI)	KPI①藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー入館者数			
		年 月	目標値	実績値
	申請時	H 2 9 . 3	38,606 人	38,606 人
	初年度	H 3 0 . 3	38,700 人	41,775 人
	2 年目	H 3 1 . 3	38,800 人	54,281 人
	3 年目	R 2 . 3	38,900 人	42,919 人
	4 年目	R 3 . 3	39,000 人	19,512 人
	5 年目	R 4 . 3	39,100 人	22,557 人
	KPI②高岡市社会動態推移			
		年 月	目標値	実績値
	申請時	H 2 9 . 3	▲81 人	▲81 人
	初年度	H 3 0 . 3	▲30 人	190 人
	2 年目	H 3 1 . 3	20 人	▲275 人
	3 年目	R 2 . 3	70 人	▲464 人
4 年目	R 3 . 3	0 人	9 人	
5 年目	R 4 . 3	0 人	▲450 人	

## イ 高岡市まち・ひと・しごと創生推進計画

<p>事業名 および 目的</p>	<p>本市の持つ町民文化やものづくり産業、高い地域力が生む住みやすさという高岡の強みを最大限に活かし、将来を切り拓いていく人材を育てる「ひと」づくりに取り組む。高岡の文化力の高さを活かした文化創造活動の実践を通じて創造的な「ひと」を育て、創造的な「ひと」が「まち」に新たなコミュニティや価値を創造し、魅力的な「しごと」を生み出す。魅力的な「しごと」は「まち」を活性化し、さらに「ひと」が集い育つという好循環を確立する。</p> <p>こうした高岡ならではのまち・ひと・しごとの創生により、人口減少下においても、若者や女性をはじめとする多様なひとが夢や希望、いきがいを持って暮らし続けられる地域の実現を目指す。</p>																											
<p>事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる事業</li> <li>・安心して子どもを産み育てられるまちをつくる事業</li> <li>・魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる事業</li> <li>・誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる事業</li> </ul>																											
<p>事業費</p>	<p>46,269 千円</p>																											
<p>寄附額</p>	<p>34,000 千円</p>																											
<p>重要業績評価 指標 (KPI)</p>	<p>KPI①創業件数（件）</p> <table border="1" data-bbox="308 1014 1335 1182"> <thead> <tr> <th></th> <th>年 月</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初年度</td> <td>R 3. 3</td> <td>120 件</td> <td>171 件</td> </tr> <tr> <td>2 年目</td> <td>R 4. 3</td> <td>240 件</td> <td>320 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>KPI②観光客入込数（人）</p> <table border="1" data-bbox="308 1256 1335 1424"> <thead> <tr> <th></th> <th>年 月</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初年度</td> <td>R 2. 1 2</td> <td>389 万人</td> <td>183 万人</td> </tr> <tr> <td>2 年目</td> <td>R 3. 1 2</td> <td>390 万人</td> <td>183 万人</td> </tr> </tbody> </table>					年 月	目標値	実績値	初年度	R 3. 3	120 件	171 件	2 年目	R 4. 3	240 件	320 件		年 月	目標値	実績値	初年度	R 2. 1 2	389 万人	183 万人	2 年目	R 3. 1 2	390 万人	183 万人
	年 月	目標値	実績値																									
初年度	R 3. 3	120 件	171 件																									
2 年目	R 4. 3	240 件	320 件																									
	年 月	目標値	実績値																									
初年度	R 2. 1 2	389 万人	183 万人																									
2 年目	R 3. 1 2	390 万人	183 万人																									

## (参考) 総合戦略の改訂について

国は、デジタル技術の活用によって、地方の個性を活かしながら地方の課題解決と魅力向上を実現し、地方から全国へのボトムアップの成長を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、令和4年6月に「デジタル田園都市国家構想基本方針」を閣議決定した。これに伴い、同年12月には、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）」を策定する予定としている。

また、令和5年1月中を目途に、策定プロセスや戦略の構成、効果検証の手法などを記載した「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」も改訂を行う予定である。

これに伴い、本市においても、国の総合戦略の改訂内容を勘案して、第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」の改訂を行う予定である。